

Windows Vista (OS)インストール

1 . Windows Vista (OS)インストール

- ・ 起動ドライブの優先順位設定 (ここで BIOS 設定画面の起動と設定変更)

Windows Vista をインストールするには DVD-ROM から起動させる必要があるため、HDD より前に光学ドライブの順位を設定しておかなくてはなりません。

この設定は BIOS で行いますが、現在世界的な BIOS メーカーとしては AMI と Phoenix の 2 社があります。Phoenix には Phoenix BIOS と Award BIOS があり、自作機では大半が Award BIOS を使用しています。

尚、OS のインストールを終えたら、インストール先の HDD を優先順位の先頭に設定しておきます。これは Window の起動時間を少しでも早くするためです。

1) パソコン背面のメイン電源スイッチをオンにして、前面のスイッチをオンにする。

2) Windows Vista (OS) の Disk を CD/DVD ドライブに挿入する。

3) マザーボードのロゴが表示されているうちに “DEL” キーを押す。

組立て後初めて電源を入れると、マザーボードのロゴが表示される。



4) BIOS SET UP 画面が出る。(タイミングが遅いと BIOS 設定画面が表示されないので、電源を切り再度やり直す。)

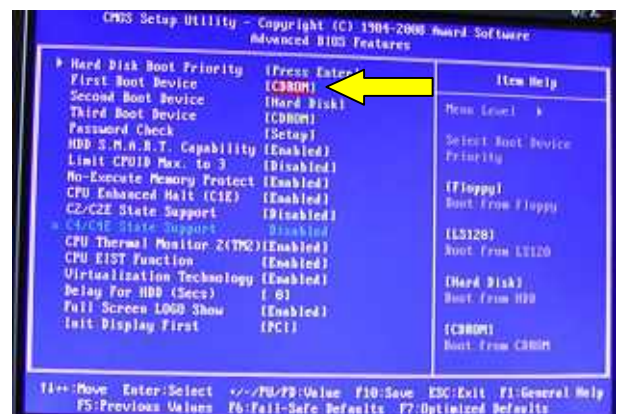
5) 左上から 3 番目の “Advanced BIOS Features” 矢印キーで選び、エンターキーを押す。

参考： の箇所はエンターキーを押すと更にサブメニューが表示される。

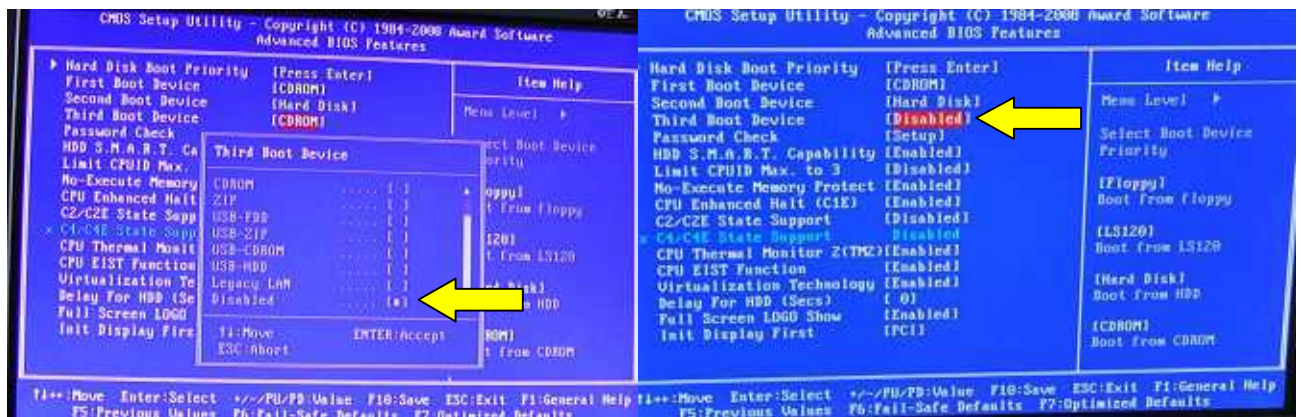


6) 2 行目の “First Boot Device” に矢印キーで送り、エンターキーを押す。

7) 最初は、”Floppy” になっているので、矢印キーで送り、”CDROM” を選びエンターキーを押す。



- 8) “Second Boot Device”は、Default の”Hard Disk”のまま。”Third Boot Device”を選んで”Disable”（無効）にする。



- 9) Init Display First が PCI になっているので PEG（PCIE）に変更する。



- 10) 起動時に“GIGABYTE”のロゴが出るようになっているが、POST 画面が出るようにするには “Full Screen Logo Show”を選んでエンターキーを押す。
 “Enabled”（有効）になっているので”Disabled”（無効）にする。



11) “F10”キーを押して Save する。”SAVE to CMOS and EXIT (Y/N)?”で“Y”キーを押す。

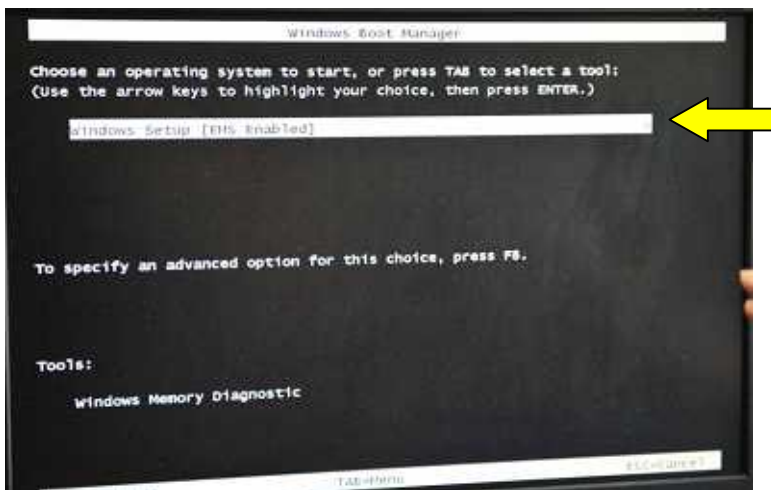
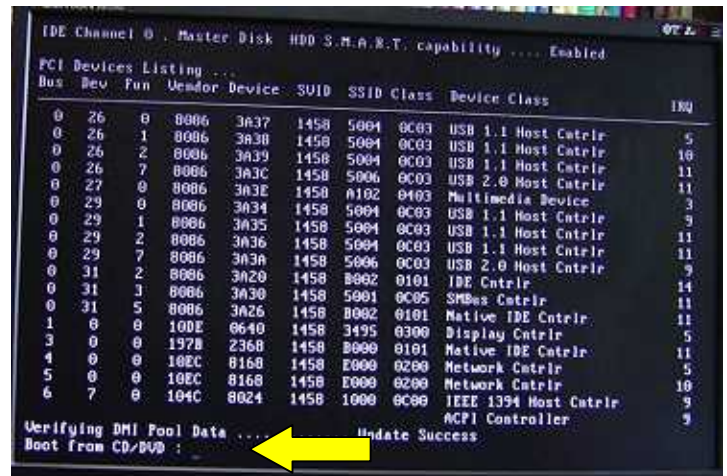
12) “GIGABYTE のロゴが表示されず POST 画面表示となる。(すぐにインテル画面、CPU の性能表示が出る。

メモリがデュアルチャネルとなっていること示す“Memory Runs at Dual Channel Interleaved”が表示される)

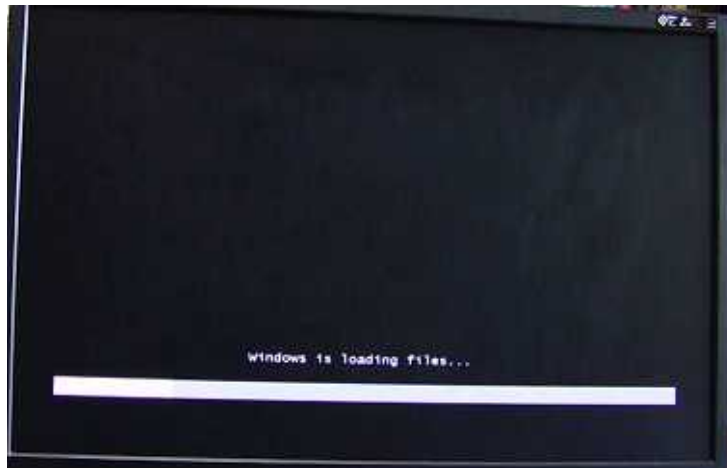


13) ここで DVD から Boot させる (Vista の DVD で立ち上げて OS をインストールする) ために “Enter” を押す。

14) Windows の setup が選択されている (反転表示) のを確認してもう一度 “Enter” を押す。



15) Windows Vista OS のインストールが始まる。



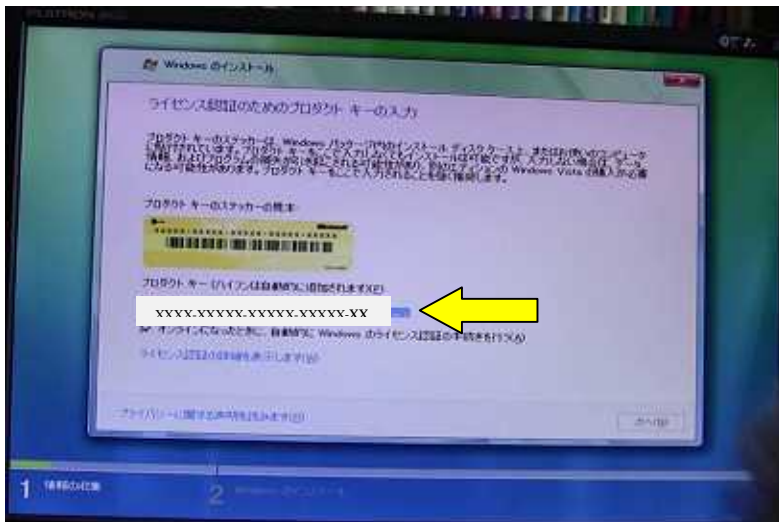
16) インストールする言語、時刻と通貨の形式、キーボードまたは入力方式、キーボードの形式を空欄に入力してから「次へ」をクリックする。



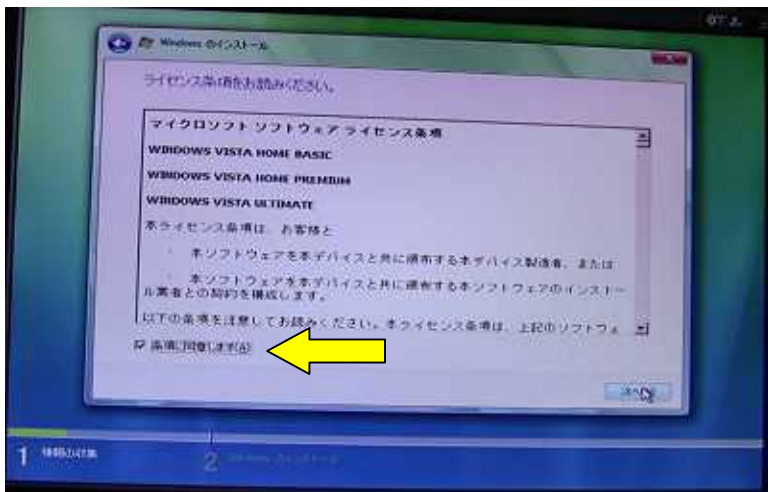
17) 出た画面の「今すぐインストール」をクリックする。



- 18) 「ライセンス認証のためのプロダクトキーの入力」画面が出るので、空欄にプロダクトキーを入力する。この時に必ず入力しなくても良い。後で入力しても構わない。30日以内に入力しましょう。

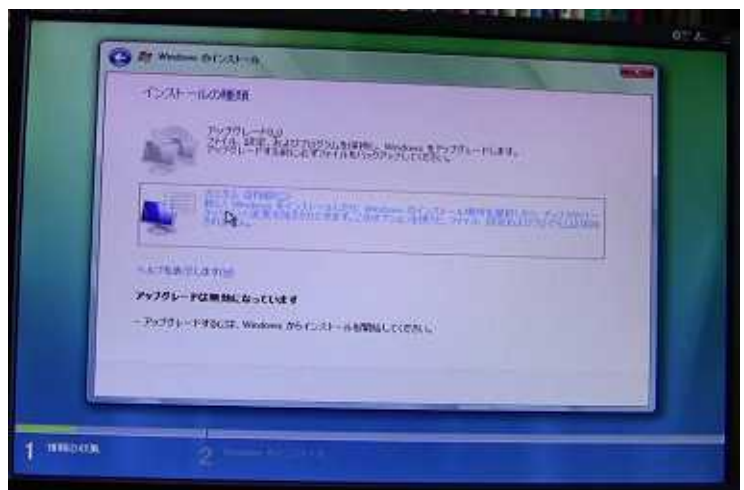


- 19) プロダクトキーを入力して「次へ」をクリックする。「マイクロソフトライセンス条項」が表示されるので、目を通して「条項に同意します」をクリックして「次へ」をクリックする。



- 20) 「インストールの種類」画面が出て「アップグレード」と「カスタム」があるが、「カスタム」を選ぶ。

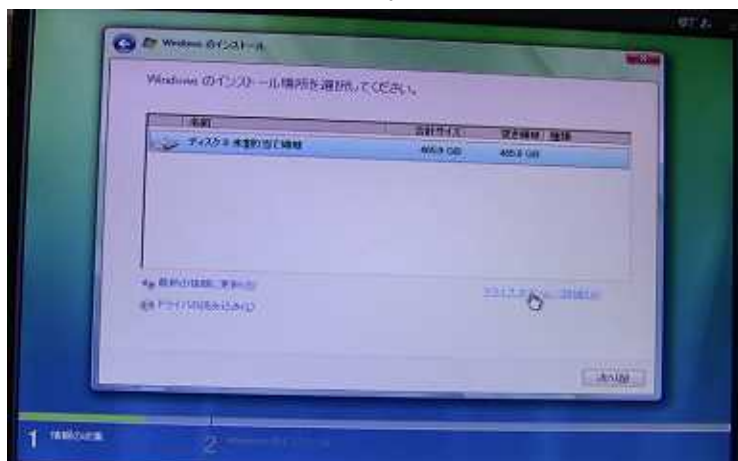
右画面のようにクリーンインストールではアップグレードインストールは当然のことながら選択できない。<カスタム>(新規)をクリックする。



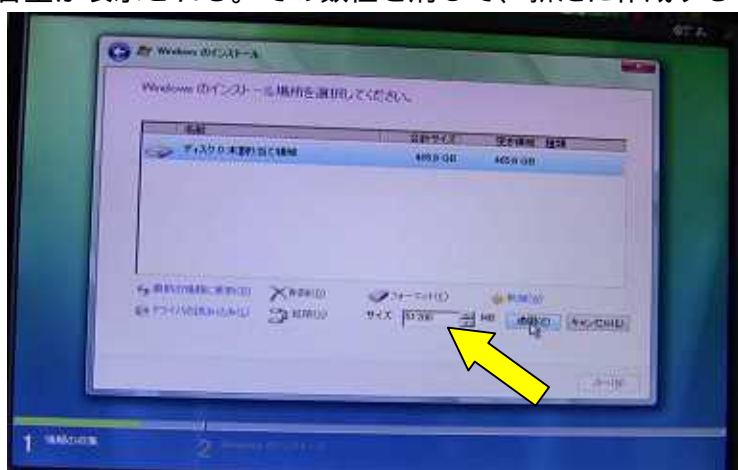
21) 「Windows のインストール場所を選択して下さい」の画面が出る。

22) 「ドライブオプション」をクリックする。

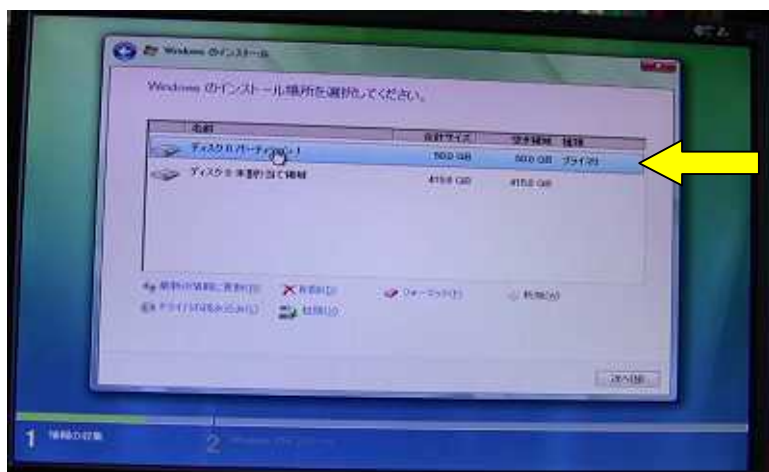
23) 「新規」をクリックする。



24) 下にボックスが出てディスク全体の容量が表示される。その数値を消して、新たに作成するパーティションサイズの数値を記入する。MB で容量を入力する。(例えば 50 GB にする場合、 $1024 \times 50 = 51200$ を記入する。)

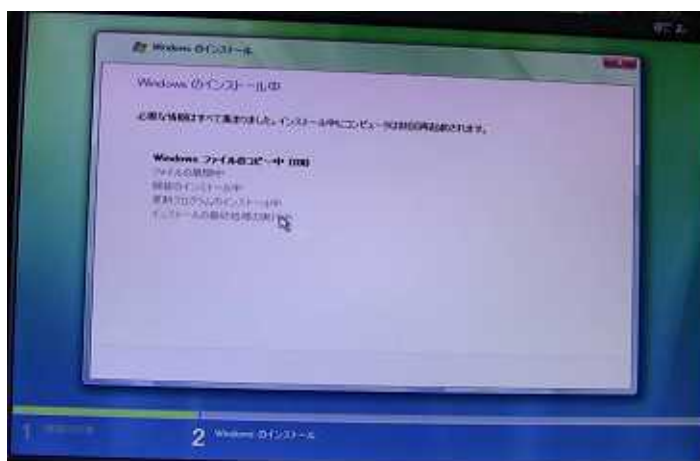


25) 「適用」をクリックする。ディスク0パーティション1 50.0 GBが表示される。



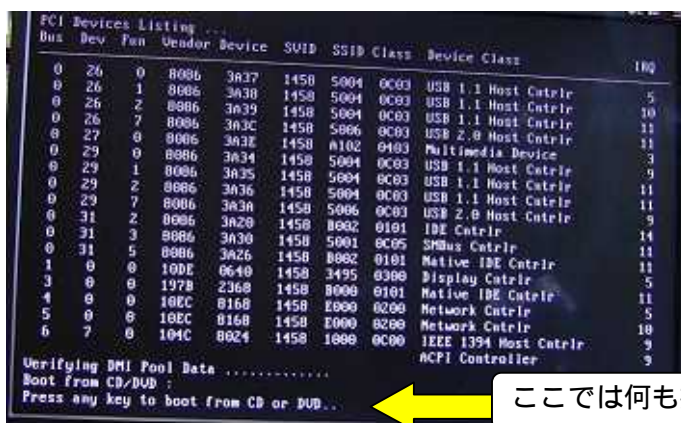
26) 「次へ」をクリックする。

27) 「Windows のインストール中・・・」が表示されてインストールが始まる。従来のWindowsのインストールと違い、下にタイムバーが表示されるだけで、画面は、変わりが少ない。HDDの初期化、ファイルコピー & 展開、インストールまで自動で進む。



その間、手出しする必要がなく、15～30分ほどかかる（PCやDVDドライブの速度によっても大きく変化する）が、その間は何もすることはない。

28) インストール中何回か自動的に再起動されるがこれは正常なので気にする必要はない。再起動中に、下に“Boot from CD/DVD: __” “Press any key to boot from CD or DVD,” が出るが、ここでエンターキーを押すと、再び、DVDからWindowsのインストールが始まってしまうので、何もしないこと。もし、押すと、永遠に同じことの繰り返しが行われてしまう。



ここでは何も押さないこと

29) 再起動が繰り返されて、Windowsのセットアップ画面「ユーザー名と画像の選択」が表示される。



30) 「このユーザー名と画像は、ユーザーアカウントを表します。ここで作成するアカウントは、コンピュータの管理者アカウントです。」で「ユーザー名を入力してください」にはユーザー名を半角英数文字で記入する。「パスワードを入力してください」にはパスワードを入力する。家庭で個人使用の場合はパスワードを入力しなくても構わない。「パスワードをもう一度入力してください」には上記で入力したパスワードを入力する。



「このユーザーアカウントで使用する画像を選択して下さい」には下の画像から選ぶ。「次へ」をクリックする。

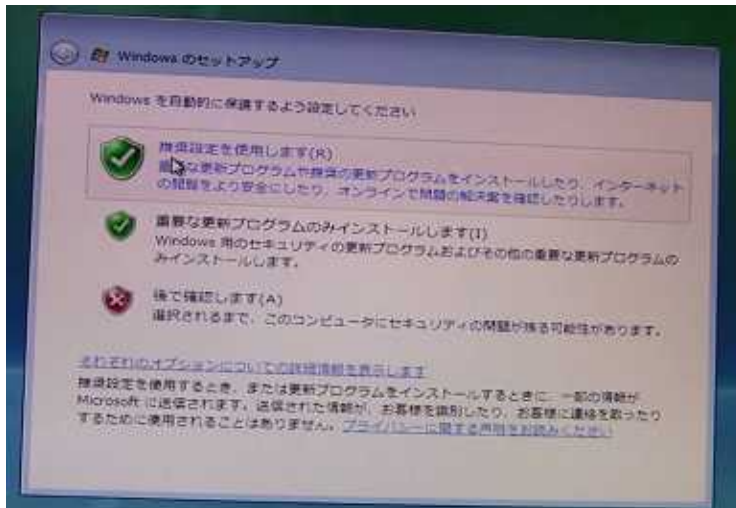
31) 「コンピュータ名を入力して、デスクトップの背景を選択して下さい」にはコンピュータ名は、同様に半角英数文字で記入する。コンピュータ名やデスクトップ



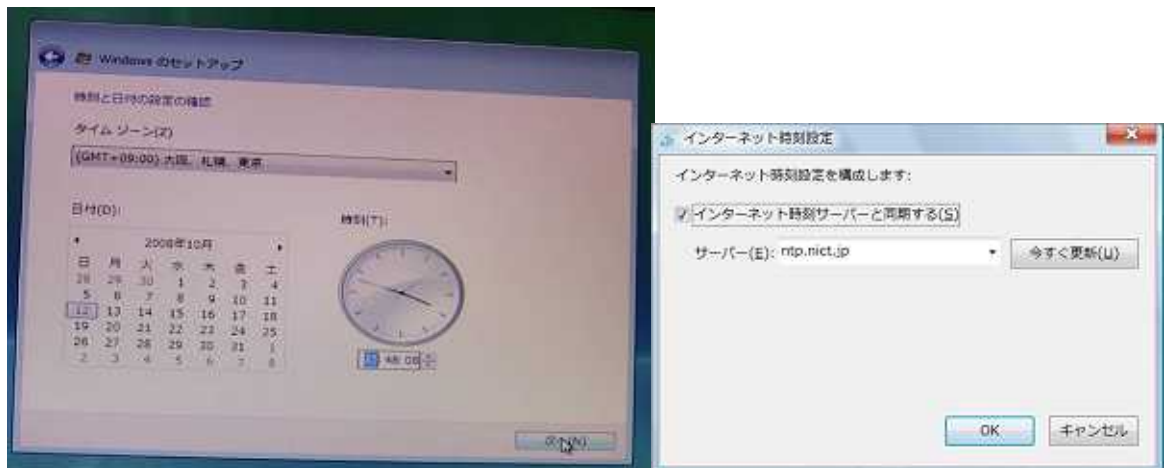
の背景は後で、コントロールパネルから変更が出来る。

「次へ」をクリックする。

32) 「Windows を自動的に保護するように設定して下さい」「推奨設定」を選択しておくが良い。



33) 「時刻と日付の設定の確認」年月日は合っているが、時刻が 1 時間遅れている。これは、マザーボードのメーカーである Gigabyte がある台湾の時刻を表示しているからである。時刻のボックスで修正する。(マザーボードメーカーは殆ど東南アジアに集中している)



日付と時刻の設定でインターネット時刻サーバーを ntp.nict.jp にすると日本標準時に同期する。

(NICTは独立行政法人 情報通信研究機構) <http://www3.nict.go.jp/cgi-bin/JST.pl>

「次へ」をクリックする。

以上でインストールは完了し「ありがとうございます」と表示されるので「確認」をクリックする。

34) 「コンピュータのパフォーマンスを確認中・・・」の表示が出る。



35) その後、画面が変わり、Vista のロゴが表示されて「デスクトップの準備をしています」と表示される。この時、サウンドが聞こえる。XP までは、サウンド、ドライバがインストールされなかったが、Vista では、OS の中にある程度のドライバが含まれているので、サウンドが出る。但し、音はするが、ハードウェアを最適に動作させるドライバは入っていないので、別にインストールが必要である。



36) 「ウェルカムセンター」が表示される。左下のボックスのチェックを外しておけば、起動の度に表示されなくなる。表示させたい時は、コントロールパネルで表示出来る。右上の×をクリックして閉じる。



37) Vista には、ガゼットが表示されるようになった。(時計、ニュースヘッドラインの表示等)
(黄色点線枠の部分)

